

新版

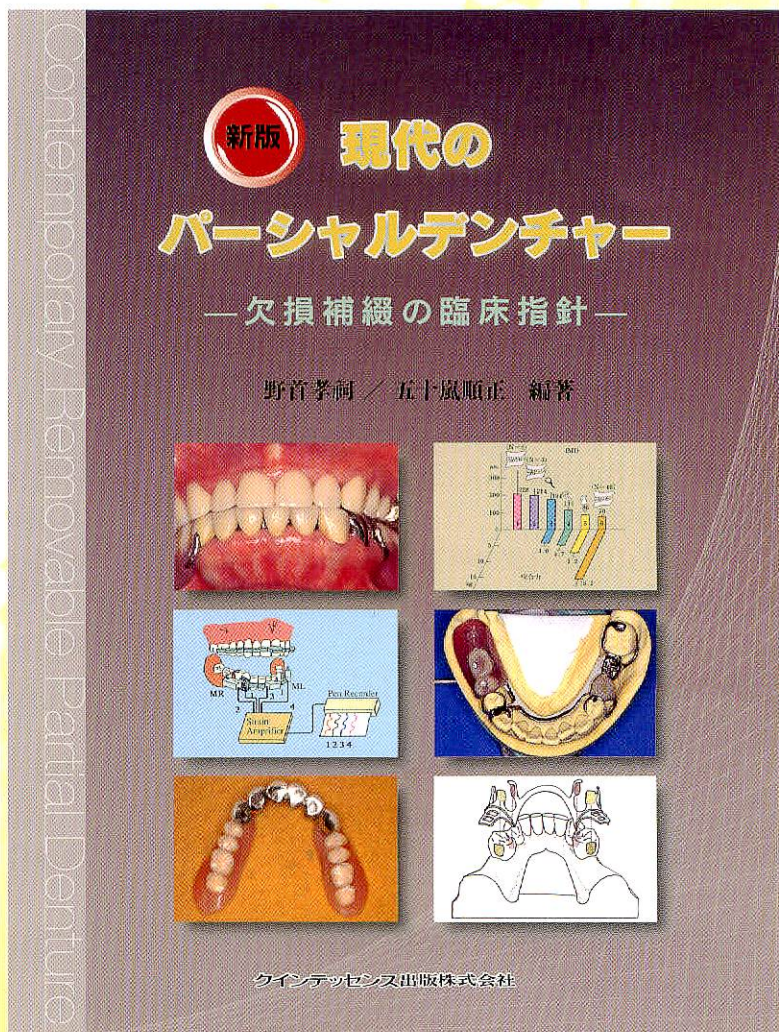
# 現代のパーシャルデンチャー

## —欠損補綴の臨床指針—

野首孝祠 / 五十嵐順正 編著

臨床に役立つ  
手引きとして  
**新装刊!**

- 初版に引き続き、とくに若いドクターに向けて治療の助けとなるハンドブックとして、なるべく平易にわかりやすく解説。
- さらに、今日の歯科界をとりまく状況を踏まえて全体をブラッシュアップ!
- 新たに「カンチレバーブリッジの成立条件」「コーヌス・テレスコープ義歯装着」「欠損補綴のオプション インプラント治療」「上下顎の顎補綴処置(顎義歯)症例」などの項目を追加。



### —執筆者一覧 (五十音順)—

五十嵐順正 / 東京医科歯科大学大学院 部分床義歯補綴学分野・教授

池邊一典 / 大阪大学歯学部附属病院 咀嚼補綴科・講師

小野高裕 / 大阪大学大学院 歯科補綴学第二教室・准教授

春日井昇平 / 東京医科歯科大学大学院 インプラント・口腔再生医学分野・教授

加藤一誠 / 松本歯科大学大学院 臨床機能評価学分野・教授

長島 正 / 大阪大学歯学部附属病院 咀嚼補綴科・講師

野首孝祠 / 大阪大学 名誉教授  
大阪大学先端科学イノベーションセンター・特任教授

李 惠娥 / 高雄醫學大學牙醫學系・教授

王 兆祥 / 高雄醫學大學牙醫學系・副教授

●サイズ:A4判変型 ●216ページ ●定価:10,500円(本体10,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail [mb@quint-j.co.jp](mailto:mb@quint-j.co.jp)



# 現代日本におけるパーシャルデンチャーの第一人者・両編著者による 実践的なノウハウをまとめた決定版!

## — CONTENTS —

### I章 欠損補綴をはじめる前に—

#### なぜ補綴が必要か、何を目的とするか

1. 欠損歯列修復処置の戦略(Grand Strategy)、欠損補綴の到達目的
2. 咬合支持の回復についての基礎知識
3. 審美性の回復(自然感)
4. パーシャルデンチャーによる欠損補綴に必要な知識と実施項目の内容整理
5. 設計の三原則
6. パーシャルデンチャー設計の基本的コンセプト
7. カンチレバーブリッジ(cantilever bridge)の成立条件

### II章 患者が来院したら

1. 口の中を診る前に
2. 患者との人間関係の確立、処置・治療内容についての情報提供
3. 治療計画の提示
4. 治療計画の具体的提示

### III章 パーシャルデンチャーによる 欠損補綴処置の基本的進め方

1. 治療方針の立案
2. 欠損歯列の治療方針
3. 咬合支持の有無による症例の難易度
4. 設計の具体化
5. コーヌス・テレスコープ(Konus telescope) 義歯装着
6. 欠損補綴のオプション インプラント治療

### IV章 パーシャルデンチャー製作のための前処置

1. 非補綴的前処置
2. 補綴的前処置

### V章 各補綴システム別の治療の進め方

1. ワンピースキャストプレート症例
2. レジン前装クラスプを用いた金属床義歯症例
3. 支台歯に対して前処置を行い、合理的設計を行ったクラスプデンチャー症例
4. 極度の近接咬合を有し、口蓋隆起の著明な症例
5. 歯冠修復とアタッチメントにキャストクラスプを併用したパーシャルデンチャーとのワンユニット症例
6. 広範なりハビリテーションとなった症例
7. テレスコープ義歯による機能回復例
8. 短縮歯列として処置した遊離端欠損症例
9. 顎義歯:上顎の小さな顎欠損部の封鎖と中空軽量化を行った症例
10. 顎義歯:下顎の大きな変位を伴う再建がない下顎顎欠損症例

### VI章 義歯の装着、経過観察の方法とメンテナンス

1. 義歯の装着
2. 経過観察と調整、メンテナンス
3. パーシャルデンチャーの長期的経過からわかったこと
4. 経過観察からみた義歯のあるべき設計

きりとり線

注文書

新版 現代のパーシャルデンチャー —欠損補綴の臨床指針—

冊注文します。

●お名前	●ご指定納入店
●ご住所 (〒 )	
●TEL	●FAX

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。